

多様な分野での

新技術開発をめざして

Photo
REPORT
フォトリポート



技術委員会を開催



管理者参加型民間共同研究
を田中委員長に諮問

今年度第2回の技術委員会を12月6日に本機構会議室で開催し、新規テーマ1件、継続テーマ6件について審議を行いました。新規テーマは、今年度から新規事業として創設された「管理者参加型民間共同研究」の初の案件として、滋賀県と民間企業2者との共同研究である「改質乾燥による下水汚泥のバイオマス燃料化技術に関する共同研究」について、松井理事長が田中委員長に諮問しました。



平成19年度事業報告会



事業報告会を10月16日に海運クラブで開催しました。報告会では、松井正樹国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業課長が「下水道事業の現状と今後の展開」と題して、また藤生和也国土交通省・国土技術政策総合研究所下水道研究部下水道研究官が「下水道ストックマネジメント研究の課題」と題してそれぞれご講演いただきました。これに引き続き、本機構の職員が事業報告と最近の研究活動等について説明しました。

東京・大阪で技術マニュアル活用講習会

技術マニュアル活用講習会を10月12日に東京、10月19日に大阪の2会場でそれぞれ開催しました。講習会には両会場合わせて250名が参加し、合流式下水道の改善技術などの新技術の導入ノウハウについて学びました。



「新エネルギー」テーマに新技術セミナー



第42回下水道新技術セミナーを11月9日に東京、11月15日に大阪の2会場で開催しました。テーマは「下水道における新エネルギー技術」で、東京会場では山地憲治東京大学大学院教授が、大阪では手塚哲央京都大学大学院教授が「エネルギーと環境問題」と題した基調講演を行いました。事例研究については、プラントメーカー等6社が発表を行い、両会場合わせて450名の参加者がありました。

新技術現場研修会を実施

「バイオマスメタン発酵に関する研究」を研修テーマとする第46回（平成19年度第3回）新技術現場研修会を10月25日に珠洲市浄化センターで開き、地方公共団体や民間企業の技術者40名あまりが参加しました。



また、11月28日には、東京都下水道局の北多摩二号水再生センターで「合流式下水道改善技術」をテーマとする第47回（平成19年度第4回）新技術現場研修会を開催し、全国から60名を超える参加者が集まりました。（次ページのキャッチアップに記事掲載）